



# ガザミ有明海 令和6年度資源評価結果

# 生物学的特性

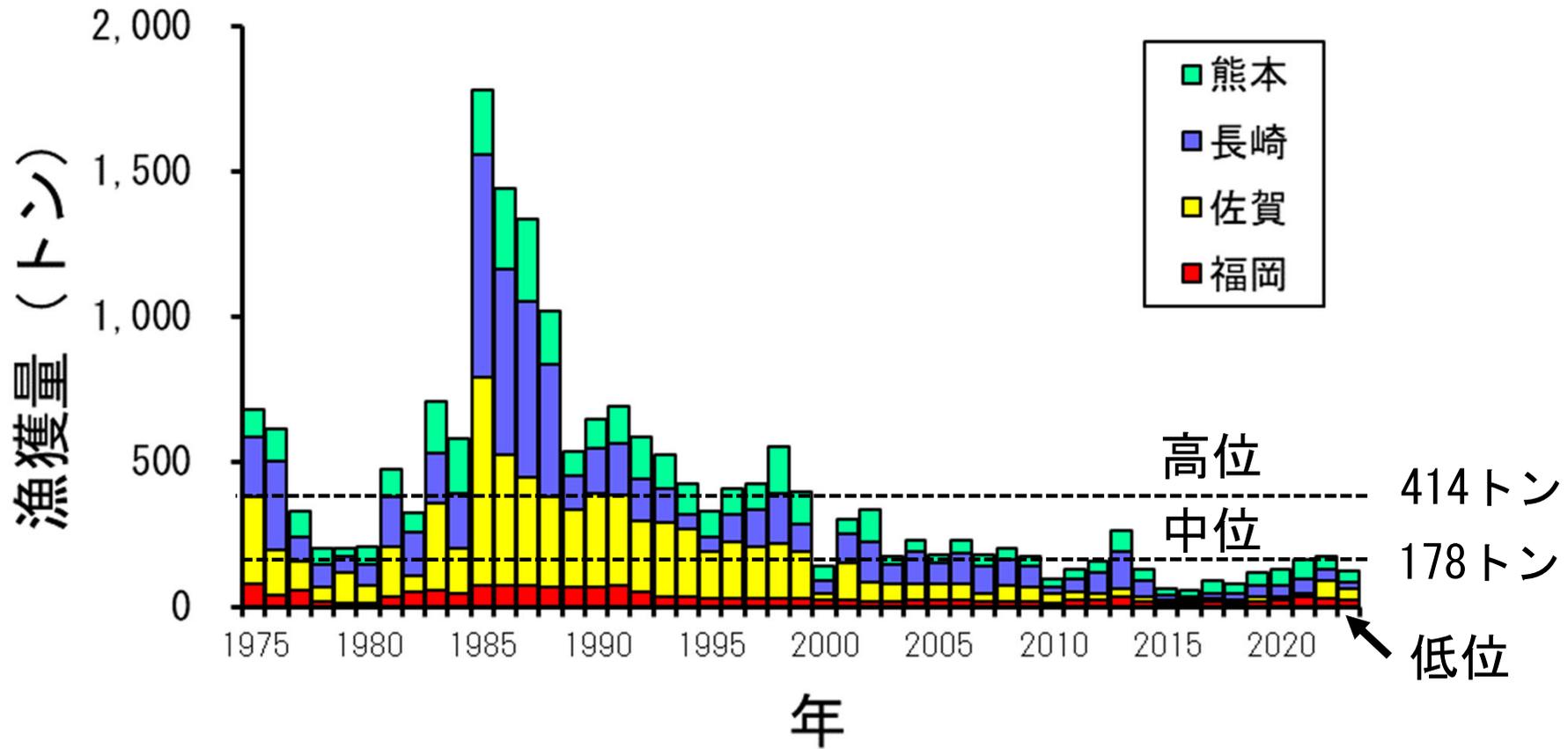


## 生物学的特性

- 寿命：2～3年
- 成熟開始年齢：1歳未満
- 産卵期・産卵場：  
4～9月（有明海の湾央部～湾奥部）
- 食性：  
甲殻類、多毛類、貝類など
- 捕食者：不明

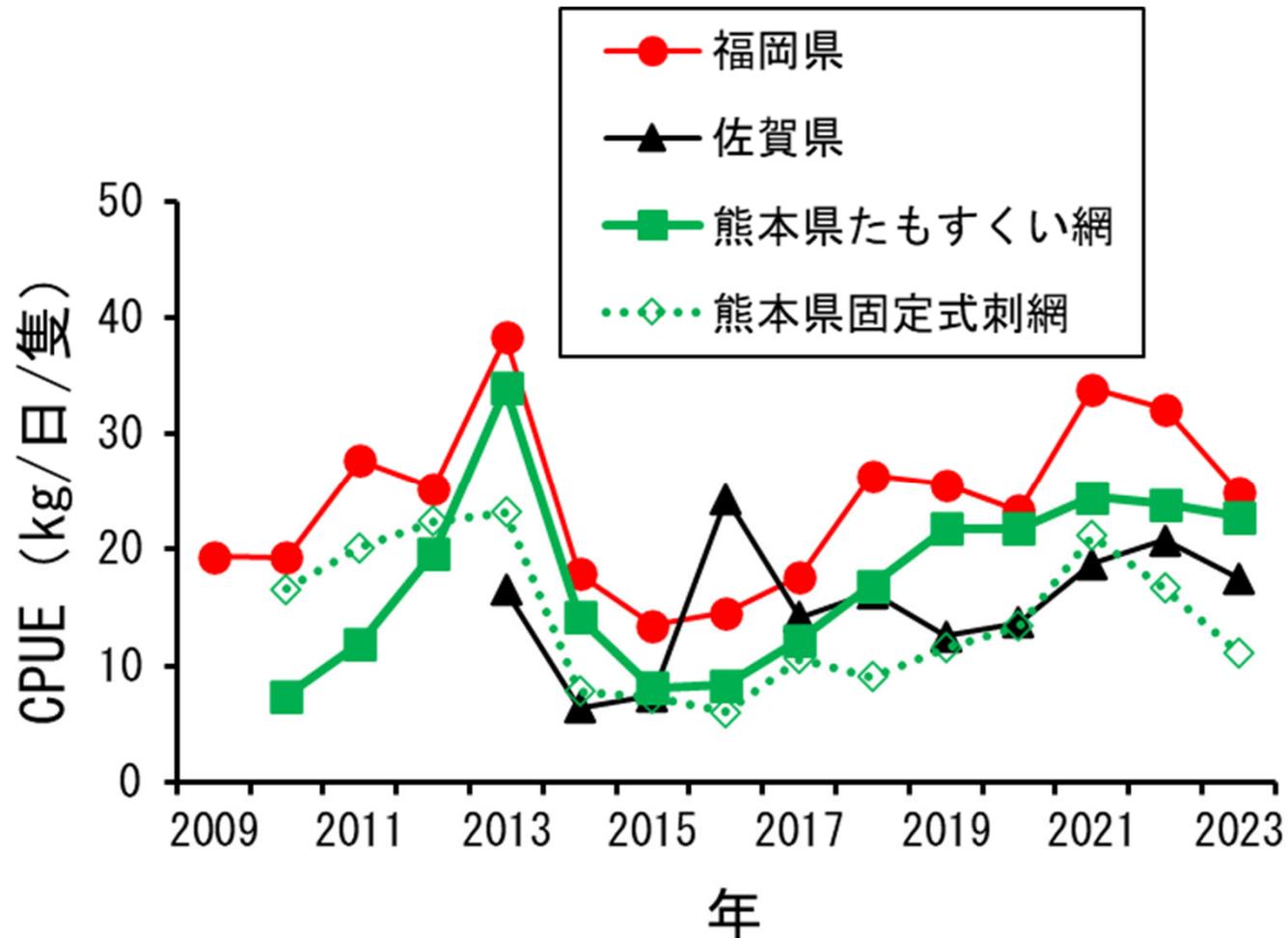
- 漁場は有明海全域
- 主漁法はカゴ、固定式刺網、たもすくい網、小型底びき網

# 漁獲の動向①



- 4県の合計漁獲量は、1985年の最大値1,781トンから2000年の142トンにまで急減し、2023年には126トン（福岡24トン、佐賀37トン、長崎25トン、熊本39トン）となっている
- 4県合計と県別の漁獲量を、三分位数によって三分割すると、2023年の4県合計漁獲量は低位、県別漁獲量は低位（佐賀、長崎、熊本）または中位（福岡）に相当する

## 漁獲の動向②



- 2009～2023年の各県・漁業種のCPUE（操業1日・1隻あたりの漁獲量）は、6～38（kg/日/隻）の範囲で増減を繰り返している
- 2023年のCPUEは11～25（kg/日/隻）で、各県・漁業種の直近5年間（2019～2023年）のCPUEに対する回帰直線の傾きはすべてプラスであった。ただし、3漁業のCPUEは、2022～2023年に連続して低下している

# 資源評価のまとめ

- 1975～2023年の各年の漁獲量を三分位数で分別した結果、2023年の4県の合計漁獲量は低位に相当した
- 直近5年間（2019～2023年）の各県・各漁業種のCPUEは上昇傾向にあった
- 以上の漁獲量とCPUEの年変動から、2023年の有明海のガザミ資源は、低位で増加傾向にあるとみなした
- ただし資源動向に関しては、過半数の県・漁業種のCPUEが2年連続で減少しているため、注意を要する